

第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会（東北）

『電気工事部門』

山形県立米沢工業高等学校

事務局 佐藤 直行

1 はじめに

今年度、高校生ものづくりコンテスト全国大会の各競技が東北各県で開催され、山形県では『電気工事部門』と『自動車整備部門』の2部門が行われた。

その為、開会式、閉会式は2部門合同で、山形職業訓練支援センターを会場に行われた。本校は、『電気工事部門』の事務局を担当しました。

2 大会概要

1) 大会期日および会場

期日 11月15日(土) 部門説明会、事前準備、開会式

11月16日(日) 競技、閉会式

会場 山形職業訓練支援センター

2) 参加校

北海道函館工業高等学校（北海道）、青森県立十和田工業高等学校（東北）、茨城県立波崎高等学校（関東）、富山県立砺波工業高等学校（北信越）、岐阜県立中津川工業高等学校（東海）、兵庫県立龍野北高等学校（近畿）、山口県立下関工業高等学校（中国）、愛媛県立今治工業高等学校（四国）、佐賀県立佐賀工業高等学校（九州）、山形県立山形工業高等学校（開催県）以上、9ブロック代表と開催県代表の10名の選手が参加した。

3) 課題

当日は、事前公開課題から2点変更があり、難易度が上がるように設定された。以下が変更点である。

- ・P F管による飛越が、金属管となった。
- ・レセプタクルの位置の移動。

金属管の飛越は、難易度が高く競技者へ前日に練習用の金属管を配布し対応できるよう配慮した。

4) 実行委員会

前年度から課題を作成するための「課題作成委員会（4名）」と「競技運営委員会（9名）」と2つの委員会を立ち上げ、大会当日にむけて準備を行った。全国大会前に東北大会をプレ大会と位置付け実施できたことで、事前に大会の流れや仕事について理解して頂き、スムーズに運営が行えた。また、県内各工業高校から1名の競技運営委員の選出協力につきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

5) 審査

東北大会同様に、外部審査員3名（㈱ユアテック、東北電力㈱、山形電気工事高等職業訓練校）、審査補助員2名（㈱ユアテック）の体制で行った。東北大会より、参加者が多いなか審査時間は変わらないという厳しい条件ではあったが、時間通りに公平、公正な審査をして頂いた。

3 大会結果

今大会の競技課題は、山形県の県旗と蔵王のスキー場をモチーフとして作成された。金属管やP F管の曲げが多く、時間のかかる作業をいかに手早くきれいに仕上げるかがポイントとなった。残念ながら2名の生徒が時間内に仕上げる事ができなかったが、いずれも事前公開課題からの変更である金属管の飛越に時間を多く取られてしまった。

なお、入賞は以下のとおりとなるが、入賞外の選手についても点差は僅差であり、練習と対策の成果を感じることができた。

優勝	青森県立十和田工業高等学校	佐藤 大輝
準優勝	山形県立山形工業高等学校	鈴木 将也
第3位	兵庫県立龍野北高等学校	浦崎 翔太



写真 大会の様子と作品



4 おわりに

今回の大会を実施するに当たり、多くの先生方に惜しみなく協力して頂きましたこと感謝申し上げます。また、会場を提供して頂いた山形職業訓練支援センター様、審査等で物心両面から多大なご支援ご協力を賜りました㈱ユアテック様、東北電力㈱様、山形電気工事高等職業訓練校様に改めて感謝申し上げます。